



目指す 児童像

し自然に親しむやさしい子
じ自分で学び考える子
き気力・体力を高める子
小将来の夢をめざす子

令和7年 7月18日
平戸市立志々伎小学校
校長 山田 泰生
No.80

1学期が終わりました 皆様の御理解・御協力に感謝します

本日で1学期が終わりました。1年生は、4月には、大きな声での挨拶ができなかったのですが、今は大きな声で、「さようなら」と挨拶できるようになりました。また、1年生のおかげで、周りの子どもたちも大きく成長できました。

さて、終業式で行った校長講話を記載して、1学期の締めくくりといたします。

皆さん、おはようございます。明日から夏休みですね。嬉しいですね。

突然ですが、質問です。校長先生は、始業式に、「こんな学校にしてほしい」と皆さんに話しました。覚えている人いますか？そうです。「笑顔いっぱい为学校」です。みなさん、一学期を振り返ってみて、笑顔で過ごせましたか？また、友達や先生が笑顔で過ごせるように行動しましたか？

校長先生は、皆さんのそのような行動をたくさん見てきました。例えば、挨拶運動。大きな声で挨拶できる人は、知らず知らずのうちに、校長先生、地域の方、運転手さんに元気をあげています。〇〇さん、〇〇さん、〇〇さんが素晴らしいですね。特に、1年生の〇〇さんは、大きな声と、とっても明るい笑顔で挨拶するので、地域の方の皆さんが笑顔になっています。今は、〇〇さんが挨拶する前に、地域の方は笑顔なんです。素晴らしいですね。しかし、「まだまだ」の人もあります。その人たちは、逆に、元気をとっちゃっています。皆さんは、元気をあげることができる人、元気を人からとっちゃう人。どちらの人になりたいでしょうか？

自分の挨拶がいいか悪いか、分からない人もいると思います。そういう人は、挨拶した後の相手の顔を見てごらん。相手が笑顔になっていれば、元気をあげる挨拶ができたということです。職員室での挨拶はほとんどの人ができています。しかし、朝の挨拶運動では、ほとんどできていません。ということは、まだまだなのです。挨拶をしっかりすることは、相手を大事にすることです。その思いやりの心が相手に伝わると、相手を笑顔にすることができます。

もう一つ。6年生の英語の授業での一幕です。〇〇〇〇先生が出した難しい質問に、〇〇さんが正解しました。その正解を一緒に喜ぼうと、校長先生は、ハイタッチをしようとしたのです。すると〇〇さんと〇〇さんも来て、ハイタッチするんです。このとき、校長先生は、めちゃくちゃ楽しくなりました。笑顔になりました。その様子を見た周りの人も笑顔になりましたね。こういった行動は、授業を盛り上げ、全員が笑顔になりますね。

相手を大事している行動や思いやりの行動、一緒に盛り上げようとする行動で、「笑顔いっぱい为学校」になります。皆さんなら必ずできると思います。今日も、また、これからも、「笑顔いっぱい为学校」をレベルアップさせていきましょう。